

読売新聞 きょう（4月25日）のイチ押し

1面・社会面など 知床観光船事故10人死亡

北海道・知床半島の沖合で観光船「KAZU I（カズワン）」が消息を絶った事故で、第1管区海上保安本部は、乗客・乗員26人のうち、男女10人を知床岬周辺で発見し、全員の死亡を確認したと発表しました。

- ★ 死亡したのは男性7人、女性3人で、身元を確認中です。24日夜に、さらに1人が見つかったという情報もあります。
- ★ カズワンの船長は昨年6月にも座礁事故を起こし、今年1月に業務上過失往来危険容疑で書類送検されていました。現場海域は地形や潮流が複雑なうえに当日は悪天候で、地元漁師らは漁から引き返し、他の業者の観光船は天候が落ち着く28日頃から運航する予定でした。
- ★ 事故を受けて、国土交通省はカズワンの運航会社に対し、海上運送法に基づく特別監査を開始。事故や船の管理状況などを詳しく調べます。

1面・2面など 米2長官キーウ訪問へ

ウクライナのゼレンスキー大統領は、米国のブリンケン國務長官とオースティン国防長官が24日にウクライナの首都キーウを訪問し、自身との会談に臨むと、記者会見で明らかにしました。

- ★ ロシアの侵攻開始後では初の米政府高官のウクライナ訪問となります。侵攻に対抗するための軍事支援が主な議題になる見通しです。
- ★ ゼレンスキー大統領は会見で、ロシア軍が南東部マリウポリのアゾフスタリ製鉄所に残るウクライナ部隊や民間人を全滅させれば、ロシアとの停戦協議を打ち切るとも警告しました。

他紙と比べて

身近な防災の知恵や工夫、最新の防災・減災技術などを紹介する毎月最終月曜朝刊の特集ページ「減災」（23面）をリニューアルしました。メインとなるイラストはこれまで以上に見やすく、わかりやすくしていきます。今回のテーマは「断水に備える」です。さらに、国内を代表する総合的な防災研究機関、京都大学防災研究所の研究者によるリレー寄稿連載「達人の備え」がスタート。減災につながる行動や意識のヒントをお伝えします。